

令和4年度 すずか市民アカデミー「まなベル」 事業報告

令和4年度のすずか市民アカデミー「まなベル」は、「新たな知識のトビラ～未来に向かって輝け鈴鹿人～」をテーマに全6回の講座を開催し、のべ112名の方に受講いただきました。

講座①:『日本近代文学の読解—作品の謎に迫る—』

日 時:9月3日(土)10:30~12:00

会 場:鈴鹿工業高等専門学校

講 師:石谷 春樹 先生

受講者:20名

講座内容:

これまで学校の教科書で習った日本近代文学作品を丁寧に読み、作品の中に隠された謎を発見することで、読書のおもしろさや意義を学びました。



受講者アンケートより:

久しぶりに学校の授業を聞いているようで楽しい時間を過ごせました。これから、作品を深く読めそうです。文学について、考えながら読みたいと思いました。

講座②:『水素社会実現に向けた 社会インフラ構築に向けて』

日 時:10月8日(土)10:00~11:30

会 場:鈴鹿工業高等専門学校

講 師:板谷 年也 先生

受講者:23名

講座内容:

地方における水素社会実現の促進に向け、技術的観点だけでなく、社会制度などの観点からも検討し、水素社会実現のための課題について解説いただきました。



受講者アンケートより:

水素の特徴や安全性など、普及にあたり知識を持つことが大切だと思いました。水素は爆発するというイメージがあり危ないと思ったが、私たちの日常生活では不可欠だと思いました。世界中で今後進められる話なので勉強になりました。

講座③:『日本栄養士会災害支援チーム (JDA-DAT)をご存じですか?』

日 時:10月22日(土)10:00~11:40

会 場:鈴鹿医療科学大学(千代崎キャンパス)

講 師:大槻 誠 先生

受講者:20名

講座内容:

栄養・食生活支援活動を通じて被災地支援を行う JDA-DAT の活動内容や実際の災害支援車に触れ、災害時における栄養・食生活支援活動について解説いただきました。



受講者アンケートより:

災害に対する意識が高まりました。温かい食事をとると心がホッとすると聞き、その通りだと思いました。「食べることは生きること」の大切さを知りました。

講座④:『小学校教育と「鈴鹿墨」』

日 時:11月19日(土)10:00~11:30

会 場:鈴鹿大学

講 師:伊東 直人 先生

受講者:15名

講座内容:

国語科の書写の学習でも使用されている鈴鹿市の伝統工芸品「鈴鹿墨」の歴史と製造工程,商品開発による新たな魅力づくりなど,体験も交えながら学びました。



受講者アンケートより:

鈴鹿の伝統的工芸品である鈴鹿墨の原料,歴史や工程等,体験を交え貴重な講義を受講できよかった。とても良い経験ができました。一個人として今後も書を大切にしていきたいと思えます。

講座⑤:『入浴について知ろう

~安全な入浴方法と効果~』

日 時:11月26日(土)10:00~11:30

会 場:鈴鹿医療科学大学(千代崎キャンパス)

講 師:島崎 博也 先生

受講者:21名

講座内容:

生活において必要不可欠な入浴に着目し,入浴の効果や注意点,安心・安全な入浴方法などを学びました。



受講者アンケートより:

入浴の効果を考えて自身の体調にあわせて入浴方法を考えることが大切だと感じました。入浴時の若年者と高齢者の違いがよくわかりました。高齢になると,自覚症状が小さいことは怖いと思いました。

講座⑥:『おいしさを感じる要因ってなに?』

日 時:12月10日(土)10:00~11:30

会 場:鈴鹿大学短期大学部

講 師:木下 麻衣 先生

受講者:13名

講座内容:

おいしさを感じる要因のうち,味覚について学び,味覚に関する実験を行うことで,味覚について知り,おいしいと感じる食事や健康的な食事について考えました。



受講者アンケートより:

試飲の実習があり,「気づき」がありました。加齢とともに感覚は低下していくことを実感したような気がします。味覚に関する講義がわかりやすく,また,味覚の実験ができ,さらに興味が高まりました。